

第 3 回 新 町 地 域 審 議 会

第 5 次総合計画前期実施計画事業に係る質疑

事業名	No	質疑	回答
新町駅前第二土地区画整理事業	1	事業区域内の敷地及び建物について、当該敷地北側に接する道路は、事業完了時に幅員 4 m 道路となる予定であるが、現況は当該敷地のみ突出しており、有事の際、緊急車両等の進入が困難である。また、建物の老朽化が著しく地震等による建物の倒壊が予想され、住人の生命に関わることから、早期の事業完了を要望したい。	【要望】
新町支所建替事業	1	新町地域は、国道 17 号線と JR 高崎線で南北に分断され、また、支所、図書館、体育館等公共施設は、駅の北側に集中している。駅の南側は人口が増加しているため、支所は、駅南側への建設についても検討をお願いしたい。	意見を参考に検討する。

その他の質疑

内容区分	No	質疑	回答
新町駅の建替と駅南側の発展計画について	1	<p>新町駅は、エレベーターが設置されておらず、高齢者や障害者の利用に不便が生じている。今後の新町駅の建替えとそれに伴う、新町駅南側の発展計画を伺いたい。</p>	<p>新町駅周辺バリアフリー基本構想に、ホームや南北連絡歩専橋の昇降施設が階段のみである状況を改善することが課題として挙げられている。今後、JRへのエレベーターの設置依頼等を考えていかなければならないが、現在、「JR高崎線新町駅付近連続立体交差化構想」が推進中であり、バリアフリー基本構想では、その方向性が出るまで、鉄道車両の車いすスペース確保や、駅員の接遇・サポート教育を推進することとしている。なお、「JR高崎線新町駅付近連続立体交差化構想」は、現在、群馬県で鉄道高架に伴う事業費算定や費用対効果を検討しており、今後、方向性が示されれば、それに沿った形で、新町駅のバリアフリー化について、事業者であるJRとともに検討したいと考えている。</p> <p>駅南側の発展計画については、新町駅から南に向かって藤岡市境まで新しく都市計画道路を予定している。この計画も、「JR高崎線連続立体交差化構想」の方向性に影響されるが、藤岡市が進めている都市計画道路「新町駅南通り線」「藤岡インターチェンジ北口線」は、新町駅に直結する幹線道路となるので、駅南の発展には大きなインパクトがあるものと考えている。</p>